



写真上：左から筆者、パソナグループ南部靖之代表、オーストラリアの州の首相、ピーアーク庄司正英取締役社長。  
写真下：左から筆者、森喜朗元首相。

## 思い出の豪州、中国

澤田 秀雄

エイチ・アイ・エス 取締役会長

め、日本のホテルは撤退するか、外資に売られるかで、オーストラリアでの投資がほとんどない時代でした。しかし私は「二人くらい、そうでもない日本人もいた方がいい」と思い、思い切った安く買った土地を買い、

ホテルを建てたのです。オーストラリアに投資する企業が少なかったのも、当時の州の首相や市長もお祝いに駆けつけてくれました。また、日本人の友達もたくさんゴールドコーストまでやって来て、パーティーに出席してくれました。2日間にわたり、夜を徹して開催されたパーティーはとも思いいに残っています。

2枚目の写真(下)は、ベンチャー企業がみな元気な時代に、百数十人で北京を訪問した際、人民大会堂で中国語のスピーチをした時のものです。この時は下手な中国語でのスピーチを最初から最後までしたので中国の方には受けましたが、隣に座っておられる元首相の森氏からは「私より下手な中国語でよくスピーチするものだ」と呆れられました。その後は、当時の朱鎔基首相にお会いして、「日本人の観光を増やすために日本人のビザをなくしてください」とお願いしました。しかし、「日本の方が中国人に対してもっと厳しいのではないか」と返されてしまいました。ところが、それから数カ月後、(私がお願したから、という訳ではないと思いますが)日本人のビザが期間限定で不要になりました。ベンチャー企業のオーナー経営者100名以上で行ったこの中国ツアーは、まとまりがなく大変な旅でしたので今でも思い出深く残っています。

パブルがはじめて数年後の1996年、2年数カ月をかけてオーストラリアのゴールドコーストにホテルを建築しました。1枚目の

写真(上)は、そのウォーターマークホテルのオープニングパーティーの模様です。この当時はパブルがはじめて数年経っていたた

ホテルを建てたのです。オーストラリアに投資する企業が少なかったのも、当時の州の首相や市長もお祝いに駆けつけてくれました。また、日本

私	の	
思	い	出
写	真	館